

令和3年度の取組状況に対する点検シート

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目	令和3年度の主な取組内容	成果指標区分	成果指標名	R3年度実績値	第2期実施計画R3年度目標値	目標値達成率	前年度増減値	R2年度実績値(参考)	取組内容などの状況と成果の分析、今後の方向性
取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化									
★ ①救急医療(一次(初期)・二次)の安定的な提供	①救急専門医、小児科医の安定的な確保 ②川崎市二次救急輪番制への参加	中期計画	救急自動車搬送受入台数	4,147件	-	-	569件	3,578件	【成果指標及び取組内容の状況と分析】 ・救急自動車受入台数については、昨年度と比較して増加しました。 ・救急患者数は、新型コロナウイルス感染症患者の受入体制確保のために一般病棟の一部を休床、コロナ専用病床としたことなどにより、目標を達成できませんでした。 ①救急専門医を4名、小児科医を9名確保し、24時間365日の救急医療・小児救急医療等を提供しました。 ②川崎市二次救急輪番制へ継続的に参加しました。 【今後の方向性】 ・救急自動車搬送受入台数は5,000台を、救急患者数は、13,000人を目標に積極的に受入れを行っていきます。 ・初期、後期研修医による救急診療の質の向上を図ります。 ・引き続き①②について取り組みを推進します。
		中期計画 総合計画	救急患者数	8,507人	13,000人	65.4%	687人	7,820人	
②災害医療機能の維持	①災害派遣医療チームの隊員の増員 ②災害訓練の実施 ③備蓄品(食料、飲料水、医薬品)の適切な補充・交換	中期計画	DMAT 隊員養成研修修了者数	11人	-	-	変わらず	11人	【取組内容の状況と成果の分析】 ①養成研修会が行われる度に参加を要望していますが、希望が通らず参加が叶っていません。なお、維持研修は随時参加しています。 ②災害訓練の実施：10/2(土)に『水害』をテーマとして84名の参加のもと実施しました。 ③各備蓄品は消費期限に応じ、その都度更新しています。 【今後の方向性】 引き続き①②③について取り組みを推進します。
		中期計画	食料・飲料水・医薬品の院内備蓄確保量	維持	-	-	-	3日間分	
取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充									
★ ○診療機能強化と報告の推進	①化学療法の積極的な実施 ②「地域がん登録」、「全国がん登録」への参加	中期計画	がん登録数(報告値)	580件	-	-	-30件	610件	【取組内容の状況と成果の分析】 ①化学療法は1,591件実施しており、前年度と比較して236件減少しました。 ②がん登録数は580件であり、前年度と比較して30件減少しました。 ・がん手術件数は369件であり、前年度と比較して3件減少しました。 【今後の方向性】 ①②について取り組みを推進します。
		中期計画	がん手術件数	369件	-	-	-3件	372件	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目	令和3年度の主な取組内容	成果指標区分	成果指標名	R3年度実績値	第2期実施計画R3年度目標値	目標値達成率	前年度増減値	R2年度実績値(参考)	取組内容などの状況と成果の分析、今後の方向性
取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実									
①循環器内科における診療の充実	①循環器内科医の安定的な確保 ②心疾患領域における短期入院診療の充実	中期計画	心臓血管系造影件数	507件	-	-	1件	506件	【取組内容の状況と成果の分析】 ①②循環器内科医の安定的な確保に努め、心疾患領域における短期入院診療の充実を図った結果、心臓血管系造影件数は前年度と比較し1件増加し、循環器内科外来延患者数が1,420名増加、入院延患者数は465名増加しました。
		中期計画	循環器内科入院・外来延患者数	17,423人	-	-	1885人	15,538人	【今後の方向性】 循環器内科でのアブレーションを含めたインターベンションの拡充を推進します。
★ ②脳神経外科における診療の充実	①脳神経外科医の安定的な確保 ②血栓溶解療法(t-PA治療)の実施 ③専門外来の継続	中期計画	脳血管系造影件数	80件	-	-	19件	61件	【取組内容の状況と成果の分析】 ①脳神経外科医の安定的な確保に努めた結果、脳血管系造影件数は前年度と比較して19件増加し、脳神経外科外来延患者数は217名増加、入院延患者数は430名減少しました。 ②③引き続き実施しています。
		中期計画	脳神経外科入院・外来延患者数	11,096人	-	-	-213人	11,309人	【今後の方向性】 脳神経外科による脳卒中急性期医療の整備を推進します。
取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進									
★ ①地域医療支援病院の運営と強化	①登録紹介医制度の推進 ②検査機器等の共同利用の推進	中期計画	紹介率	75.2%	-	-	3.3%	71.9%	【取組内容の状況と成果の分析】 ①登録紹介医制度の推進により初診紹介患者数が増加し、救急専門医、小児科医の安定的な確保に努め、川崎市二次救急輸送制にも引き続き参加したことにより救急患者数が増加した結果、紹介率・逆紹介率とも前年度平均を上回りました。 ②画像検査(MR・CT)の件数が前年度比を上回り、回復傾向にあります。紹介元の希望日の依頼に応えられるよう、MRの枠数を増やすなどの対応をしています。
		中期計画	逆紹介率	70.4%	-	-	4.5%	65.9%	
		中期計画	検査機器の共同利用件数	3,721件	-	-	599件	3,122件	【今後の方向性】 引き続き①②の取り組みを推進します。
②地域包括ケアシステムの推進	①在宅療養を支援するため、地域の訪問看護ステーション等と意見交換を行う「多摩区・病院と在宅ケアネットワークづくりを目指す会」の充実 ②地域医師会との懇親会の定期開催	中期計画	地域関係施設との連絡調整会議への参加回数	4回	-	-	-4回	8回	【取組内容の状況と成果の分析】 ・地域関係施設との連絡調整会議への参加回数については、新型コロナウイルス感染症の感染対策として、オンラインで4回開催しました。 ・コロナへの感染対策を万全として地域医療支援病院運営委員会を4回開催。医師会はもとより、薬剤師会や消防署、近隣住民の代表者らと毎回活発な意見交換が行われています。 ①オンラインで定例会を5/19(水) 10/20(水) 2/16(水)の3回開催し、学習会を12/13(月)に1回開催しました。 ②9/1(水)に多摩市民館大ホールで「登録紹介医の会」をシンポジウム形式で開催しました。
		中期計画	有識者を参集して行われた連携会議等の回数	4回	-	-	4回	0回	

<外部評価> 委員会委員による意見等

取組項目	令和3年度の主な取組内容	成果指標区分	成果指標名	R3年度実績値	第2期実施計画R3年度目標値	目標値達成率	前年度増減値	R2年度実績値(参考)	取組内容などの状況と成果の分析、今後の方向性
取組項目(1) 人材の確保と育成の推進									
★ ①医療従事者の確保	①病院実習生の受入れ ②病院見学・インターンシップの受入れ	中期計画	基幹型臨床研修医の受入れ	10名	-	-	変わらず	10名	【取組内容の状況成果の分析】 ・臨床研修医は前年度10名(前期のみ記載)から20名(前期+後期)と受入数は変わらず、医師事務作業補助者は前年度同様となりました。 ①病院実習生は32校から253名を受け入れました。 ②病院見学は15回、インターンシップは41回受け入れました。 【今後の方向性】 引き続き①②の取り組みを推進します。
		中期計画	医師事務作業補助者の人数	17名	-	-	変わらず	17名	
②職員の専門能力の向上	①認定看護師取得のためのサポート ②診療情報管理士の安定的な確保	中期計画	認定看護師の人数	11名	-	-	変わらず	11名	【取組内容の状況成果の分析】 ・認定看護師は前年度と同様。また、専門看護師(家族支援分野)1名も勤務しています。 ①引き続き実施しています。 ②診療情報管理士は前年度と比較して1名増員しました。 【今後の方向性】 引き続き①②の取り組みを推進します。
		中期計画	診療情報管理士の人数	16名	-	-	1名	15名	
取組項目(2) 医療安全の確保・向上									
○医療安全の強化	①医療事故の防止及び迅速な対応 ②医療安全対策に係る研修を受けた専門看護師等の配置 ③感染対策の十分な経験を有する医師・看護師等の配置 ④感染制御チームによる活動の推進	中期計画	体制の確保 (「医療安全対策加算1」及び「感染防止対策加算1」に係る診療報酬施設基準の届出)	届出(継続)	-	-	-	届出(継続)	【取組内容の状況成果の分析】 ①医療事故の防止、及び迅速な対応については、医療安全に係る指針、規程に基づいて迅速な活動をしています。 ②医療安全対策に係る研修を受けた専門看護師等の配置は、医療安全管理室副室長として専従配置しています。 ③感染対策については、医療安全管理室所属の院内感染対策において十分な経験を有する医師・看護師等が活動しており、看護師については専従配置をしています。 ④院内感染対策委員会(1回/月)について、室長・病院長・副院長・医師・看護師(専従)・臨床検査技師・薬剤師・事務で構成しており、感染対策チーム(ICT)のラウンドも毎週実施しています。 【今後の方向性】 引き続き①~④の取り組みを推進します。
取組項目(3) 患者に優しい病院づくり									
★ ○分かりやすい情報提供と利用しやすい施設の強化	①医療相談センターにおける患者相談窓口の一元化 ②ホームページの内容の充実 ③市民健康講座の開催	中期計画 総合計画	入院患者満足度	86.2%	89.3%以上	96.5%	-3.8%	90.0%	【成果指標及び取組内容の状況と分析】 ・患者満足度調査は、1回目を8月に、2回目を2月に実施しました。 ①引き続き実施しています。 ②10/26(金)にホームページをリニューアルしました。 ③5/24(月)に眼科、8/3(火)に産婦人科、12/21(火)に薬剤部、3/28(月)に呼吸器内科の市民公開講座を、それぞれ動画で配信しました。 【今後の方向性】 引き続き①~③の取り組みを推進します。
		中期計画 総合計画	外来患者満足度	84.3%	81.7%以上	103.2%	-1.3%	85.6%	

<外部評価> 委員会委員による意見等

取組項目	令和3年度の主な取組内容	成果指標区分	成果指標名	R3年度実績値	第2期実施計画R3年度目標値	目標値達成率	前年度増減値	R2年度実績値(参考)	取組内容などの状況と成果の分析、今後の方向性
取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進									
★ -	①医療機能の充実・強化による診療収益の確保 ②精度の高い診療報酬請求 ③未収金督促・催告の強化	中期計画	医業収益の額	89.0億円	-	-	6.4億円	82.6億円	【成果指標及び取組内容の状況と分析】 ・医療機能の充実・強化の一環として、登録紹介医向けに各診療科医師による動画配信等を行っています。 ①最新の手術支援ロボットを導入し、病院機能の充実・強化を行いました。 ②各担当事務が査定項目を分析し、実際に審査を行っている医師が委員長であるレセプト審査委員会で、事例検討を行い、精度の向上に努めています。 ③電話や文書による督促とともに未収台帳を作成し、医事課内で情報共有及び各部署と連携して行っています。回収困難事例に対しては、法人内の会議で相談する体制を整えています。 【今後の方向性】 ・ポストコロナに対応できる医療提供体制へ速やかに移行できるよう準備を進めていきます。 ・引き続き①～③の取り組みを推進します。 ※病床利用率は一般病床を基準としたもの
		中期計画	入院患者1人1日当たり診療収入(入院診療単価)	69,373円	-	-	4,757円	64,616円	
		中期計画	外来患者1人1日当たり診療収入(外来診療単価)	15,016円	-	-	25円	14,991円	
		中期計画※	病床利用率(許可)	62.3%	-	-	-2.6%	64.9%	
			病床利用率(稼働:参考)	75.8%					
取組項目(2) 経費節減に向けた取組の推進									
★ -	①適正な在庫管理 ②業務効率化による時間外勤務の縮減	中期計画	職員給与費対医業収益比率	59.7%	-	-	-3.3%	63.0%	【取組内容の状況成果の分析】 ①物流センターによる全部署の在庫見直しを毎年2回実施するほか、必要に応じて随時対応しています。 ②「医療従事者業務負担軽減検討委員会」において、医療従事者の勤務状況を把握し、労働環境の改善策を講じています。また、時間外勤務も同委員会にて、半月及び1ヶ月毎に勤務内容を評価し、各所属長へ注意喚起するなど改善策を講じています。 ・4病院作業部会を開催し、材料等商品を4病院統一を図ることでスケールメリットを得ています。 【今後の方向性】 ・引き続き①の取り組みを推進します。 ・負担軽減検討のためのワーキンググループを開催します。
		中期計画	委託費対医業収益比率	15.9%	-	-	-1.5%	17.4%	
取組項目(3) 経営管理体制の強化									
-	①幹部会議を通じた収支状況等の各職員への周知 ②経営戦略会議の開催	中期計画	経営戦略会議開催数	12回	-	-	変わらず	12回	【成果指標及び取組内容の状況と分析】 ・経営戦略会議を毎月開催しました。 ・多摩病院運営協議会等の開催回数について、市立病院運営委員会における審議を2回実施しました。 ①月次の収支状況等については、管理運営会議にて各部門責任者へ報告、情報を共有し、各職員へ周知している。 ②毎月開催の「経営企画会議」にて、収支状況等の報告、経営戦略の企画立案、実施、評価、改善を行っています。 【今後の方向性】 引き続き①②の取り組みを推進します。
		総合計画	多摩病院運営協議会等の開催回数	6回	2回	300.0%	2回	4回	

<外部評価> 委員会委員による意見等